

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	農林部農林企画課		■担当係	農林企画係
■評価事業名称	北上市産地直売所魅力アップ事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	050100 - 058	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	03 魅力ある農林業の振興		
	■施策	03 産地消の推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	産直を魅力ある施設にすることで、お母さんを元気にし、農業と地域の活性化をはかるもの。北上市産地直売所連絡協議会に対し補助金を交付し、産地直売所を核とした農業経営を促進するため、産直を魅力ある施設にする取り組みを支援する。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	北上市産地直売所魅力アップ事業費補助金	北上市産地直売所連絡協議会	<ul style="list-style-type: none"> ○スタンプラリー ○視察交流会 ○農楽工楽クラブ出前産直 ○研修会及び料理発表、昼食会 ○イベント出店 	<ul style="list-style-type: none"> ○スタンプラリー クーポン券引換者:500円券86名、300円券24名、商品当選者28名 ○視察交流会(宮城県大崎市、登米市)32名参加 ○講演会&昼食会64名参加 ○イベント出店 3回 ○首都圏PR事業 1産直参加 ○レベルアップ研修(2回)参加者合計33名 ○農楽工楽クラブ出前産直 3企業へ2産直が出店 ○会議開催 5回

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費		44	20	14	
人件費	2,249	3,947	3,553	4,273	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	2,249	3,991	3,573	4,287	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	研修会の開催数	2回	1回	1回	3回	講演会および昼食会と、レベルアップ研修を行った。
	イベント開催数	1回	1回	1回	1回	スタンプラリーを実施。21年度は1カ月の実施期間だったが、22年度は3カ月間実施。29年度は2か月間実施。
	補助対象産直の売り上げ総額	対前年6%増	対前年7%増	対前年1%増	対前年2%減	総会資料から(または聞き取り)

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

イベントや研修を通して産直会員のレベルアップを図れた。

問題点・課題等

産直によっては高齢化等により運営が難しくなっているところがある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了